



背中であれ 目であれ マスク越しでも声で伝えよ

3月22日、7名が柴山小学校を卒業しました。そして、翌日23日、6名の子どもたちが卒園しました。そして、本日24日は1年間のそれぞれの学年の課程を修了しました。

7名の卒業生の皆さんは、中学校へ進学して新たなステージへ。6名の卒園児は、柴山小学校へお迎えします。進学おめでとうございます。今日を経て1年間の教育課程を修了され進級する皆さんもおめでとうございます。

令和3年度も新型コロナウイルス感染防止を第一に子どもたちの安心・安全を守るよう歩んできた1年間でした。マスクをした1年間。子どもたちの表情をマスクが隠し、思いを表す、思いを汲み取ることが難しい状況下ですが、1年の締めくくりであり、新たな門出である卒業式・卒園式が挙行できたことは、感謝、感謝でした。

見出しの言葉は、卒業式練習が始まる前に、6年生に話しました。卒業への喜び、感謝の思いを伝える最後の授業、卒業式。保護者の方へ、在校生に伝えてほしいと話しました。

式に向けて、全校生で行った練習は通し練習も含めてわずか3日間でした。練習の時から6年生は、その思いを話れていたと思います。そして、通し練習の時に、見出しの言葉を在校生に向けても話しました。6年生の姿勢が伝わり、在校生もしっかりとした目で受け止めて練習に臨んでいました。22日は、厳かに式が挙行され、6年生7名は旅立っていききました。



卒園児も、マスク越しに修了書を授与する時、お家の方へメッセージを送る時、声で感謝を伝えました。入園してからの1年間、めざましい成長がうかがえました。

卒業式、卒園式、とてもすばらしい式となったこと、うれしかったです。

最後になりましたが、2年続きで、地域の皆様には、学校園という場で、柴山っ子の姿をお見せする機会がほとんど設けられませんでした。それでも、学校・園教育活動にご理解、ご協力をいただき心強い応援団でした。

保護者の皆様、地域の皆様、次年度も「柴山っ子」の健やかな成長に向け、大きな力添えをよろしくお願い致します。

職員一同、心よりお礼申し上げます。

1年間、ありがとうございました。

(文責 中田 齊)